

在キルギス日本国大使公邸における「和歌山県物産プロモーション」の開催

2012年12月

在キルギス日本国大使館

1. 事業内容

8月24日、和歌山県とキルギス共和国イシククリ州の経済関係を強化する目的で、在キルギス日本国大使公邸において「和歌山県物産プロモーション」が開催されました。本事業には、文化・観光省、イシククリ州政府、カラコル市（イシククリ州の州都）、政府付属ビジネス発展投資評議会事務局等の政府・地方自治体関係者をはじめ、飲料メーカー、流通業界及び飲食業界等の民間企業の社長及び報道関係者ら約70名が出席しました。

本事業は、仁坂和歌山県知事のイニシアティブのもと実際に和歌山県庁から幹部職員を派遣していただき、同県庁と在キルギス日本国大使館の共催として実施しました。

また、翌25日～31日実施の当地日系企業「Japan World」(株式会社「ペリーレッド」出資)の店舗における和歌山県物産展の広報を兼ねました。

当日は、丸尾駐キルギス日本国大使（当時）、ケネンバエヴァ・イシククリ州副知事及び山崎「ペリーレッド」社社長からの挨拶とともに、和歌山県庁側より物産品を含む和歌山県の魅力について紹介するプレゼンテーションが行われました。その後、会場にて和歌山県物産の試食・試飲会を実施し、キルギス人の参加者に対して和歌山県産の食品について説明をしながら、梅そうめん、みかんゼリー、日本酒及び梅酒等の食品の試食をしてもらいました。

これらは、首都ビシュケク市の「Japan World」の店舗で販売され、日本から仕入れた品物全てを完売しました。



丸尾駐キルギス日本国大使（当時）
挨拶



山崎「ペリーレッド」社社長挨拶



下社和歌山県庁食品流通課課長による
説明



梅そうめん、みかんゼリー等の試食と
宮崎和歌山県庁職員からの食品解説

2. 成果と今後の目標

キルギス共和国は国民の多くが親日的であるものの、地理的に日本から遠方に位置する中央アジアの一国であり、一般的には日本食品に接する機会は限られています。そうした状況において、和歌山県の梅酒、日本酒及びみかんゼリーなど、潜在的にはキルギスにおいて市場を獲得できるような食品を当地の政財界の要人及び報道関係者に対して紹介することで、和歌山県の食品企業の海外展開を支援する意義深い機会となりました。

また、より長期的には、和歌山県とキルギス共和国イシククリ州の経済関係が発展することを望んでいます。本イベントではイシククリ州副知事及び同州の州都カラコル市市長の出席もあったことから、イシククリ州と和歌山県との間の人的な交流を活性化する場となりました。

さらに、キルギスには日系企業がほとんどないという中で、本事業は、当地の日系企業が和歌山県の物産を店舗にて販売することを後押しし、キルギスにおける日系企業の活動を側面支援するという重要な意義もありました。

試食・試飲会においては、すべての参加者から、和歌山県の物産である梅酒、日本酒及び梅そうめん等の食品を試食・試飲することができて感激した旨の感想が寄せられており、今後キルギスの流通業界、飲食業界と緊密に連携しつつ、キルギスでの市場開拓及び両国の自治体間の経済的交流の促進を目指したいと考えています。



下社和歌山県庁食品流通課課長とカラコル市長



日本酒、梅酒、梅ジュース等の試飲

(了)